IPネットワーク個別点検（ディジタル端局装置（MPE方式））

点検基準（案）及び点検業務積算基準（案）

平成２７年１月

IPネットワーク個別点検（ディジタル端局装置（MPE方式））点検基準（案）

「個別点検」　４－６　IPネットワーク個別点検（ディジタル端局装置（MPE方式））（１／１）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備　　考
			毎日	1ケ月	2ケ月	3ケ月	6ケ月	12ケ月			
1	表示機能の確認	状況表示ランプにて障害表示の有無を確認する。	○							装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	警報履歴の収集確認	監視装置のロギング機能により警報履歴を収集、分析する。	○								
3	IPパケット疎通等の確認	試験端末からPingコマンドを発行し、IPパケットの疎通状況を確認する。						○			
4	遅延時間の確認	測定器間でテスト用のユニキャスト／マルチキャストパケットの送受信を行い、測定器間の遅延時間が許容遅延時間を超えないことを確認する。 ［許容遅延時間基準値］ ・100msec以下						○	LANアナライザ		
5	パケット抜けの確認	測定器間でテスト用のユニキャスト／マルチキャストパケットの送受信を行い、測定器間のパケットロスが基準値を超えないことを確認する。 ［パケットロス基準値］ ・1×10^{-3}以内（1000個のパケット送信に対し、受信側でロスするパケット数が1以下であること。）						○	LANアナライザ		
6	L2経路確認	測定器間でテストパケットの送受信を行い、テストパケットの疎通経路がシステム設計通りであることを確認する。						○			
7	光送受信レベルの確認	光送信、受信レベルを確認する。						○	telnetコマンド WEB-GUI		拠点内の上位にWDMなど別の伝送装置が接続されていない場合のみ実施。
8	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ、端子等の接続状態を確認する。						○			
9	機器本体の清掃	装置外面の清掃及び装置外面の取り付け状態の確認をする。						○		周囲環境を考慮した機能維持	
10	図書類・予備品等の確認	取扱説明書、試験成績書の保管状況及び予備品等の数量を確認する。						○		障害時の備え	
11	構成確認	物理構成管理 ・各構成図を参照し、機器の設置状況やポート使用状況、装置アドレスが構成図と一致していることを確認する。						○	ネットワーク物理構成図機器実装図／ポート収容計画図		
		論理構成管理 ・VLAN情報等機器の設定情報の確認と設定情報の保存をする。						○	ネットワーク論理構成図 構成定義情報		

IPネットワーク個別点検(ディジタル端局装置(MPE方式))点検業務積算基準(案)

「個別点検」　４－６　IPネットワーク個別点検（ディジタル端局装置（MPE方式））

No.	確認事項の概要	点検周期						歩掛（人）			備　考
		毎日	1ケ月	2ケ月	3ケ月	6ケ月	12ケ月	単位	技術者	技術員	
1	表示機能の確認	○						100台	－	－	
2	警報履歴の収集確認	○						100台	－	－	
3	IPパケット疎通の確認						○	100方路	2.500	2.500	
4	遅延時間の確認						○	100方路	9.380	9.380	※
5	パケット抜けの確認						○	100方路	9.380	9.380	※
6	L2経路確認						○	100方路	6.250	6.250	※
7	光送受信レベルの確認						○	100台	6.250	6.250	
8	接続部の確認						○	100台	6.250	6.250	
9	機器本体の清掃						○	100台	6.250	6.250	
10	図書類・予備品等の確認						○	100台	6.250	6.250	
11	構成確認						○	100台	6.250	6.250	物理構成管理
							○	100台	6.250	6.250	論理構成管理

※ 複数のWAN回線を有し、MPEコントローラ等による切替操作により方路別に点検を行う必要がある場合は、回線数に応じ積み上げ計上すること。